

令和元年11月13日（水）

第4回大槌高校魅力化構想会議 大槌高校の魅力化コンセプトが決定しました！

11月13日（水）に「第4回大槌高校魅力化構想会議」が大槌町文化交流センターおしゃっちにて開催されました。今回の会議では、魅力化構想骨子案（第1期大槌高校教育振興計画）についての協議を行いました。

今年5月から生徒や教職員との魅力化全校集会や地域との懇談会を開催し、大槌高校で育てたい生徒像や理想の学校像について議論を重ねてきました。その中で皆さんから頂いたご意見を元に魅力化構想骨子案を作成し、魅力化構想会議で最終協議を行うことになりました。

今後の魅力化のコンセプトは、2案の中から委員の皆さんの投票により「大海を航る、大槌（ハンマー）を持とう」に決定しました。委員の皆さんからは、「3年間で自分の強みである大槌（ハンマー）を見つけられる学校は魅力的だと思う」「コンセプトで掲げたことをいかに実現していくかが重要になる」といった期待の言葉が寄せられました。

また、会議の助言者として参加された東京大学 牧野篤教授から、変化が激しい社会の中で生涯学び続ける力を育成することの重要性や今後の取り組みへの期待などのご助言をいただきました。

大槌高校の魅力化コンセプトに関しては、次のページに詳しく掲載しておりますのでご覧ください。



■メディア掲載はこちら

毎日新聞

<https://mainichi.jp/articles/20191120/ddl/k03/100/073000c>

朝日新聞

<https://www.asahi.com/articles/ASMCF4QBFMCFUJUB007.html>

■魅力化コンセプト

「大海を航る、大槌（ハンマー）を持つ」

■目指す人材像

・意思がある（自立）

自らの志を深め、物事を探究する意欲を持ち、自らの進むべき道や地域社会の課題をジブンゴトとして、主体的に行動ができる人

・仲間とともにある（協働）

世代や地域、言語が異なる人との交流を通して、他の価値観や文化等の多様性を需要し、立場の違いを越えて共創することができる人

・逆境から創り出す（創造）

予測できない未来や想定外のこと、困難な状況を乗り越えるためのしなやかな心を持ち、必要に応じて助けを求め、体験から学びを得ようとする姿勢を持ち合わせ、新しい価値を創ることができる人

■目指す人材像が育まれる大槌の地域性

・海－地域－：大槌の海は大海に漕ぎ出す船を支える海である。

・空－希望－：大槌の空は、希望を持つものが見上げた時に受け止める空である。

・山－多様性－：大槌の山は、様々な生き物が共生できる山である。

・風－挑戦－：大槌の風は挑もうとする者を応援する風である。

■学校の目指す姿

①一人ひとりの目標を応援され、それぞれが持つ強み（大槌）が見つけれられる学校

それぞれの活動や進路の実現を個別にサポートし、個々の強みの発見を助け、その強みをさらに伸ばしていくための機会を創り出す学校。

②未来社会に生きる力をつける学校

急速に変化する時代を生き抜くために必要な力を、体験等を通して主体的に身に付けることができる機会を創り出す学校。

③多様な価値観で多様な個性を支える学校

生徒の持つ様々な個性が受容され、その個性を伸長させることができ、地域や外海（外界）の人々との交流を通して、自らのアイデンティティを確認し、自分に自信を持つことができる学校。

④地域が学びを育て、学びが地域を育てる学校

生徒が積極的に地域と関わることを通して学ぶ機会を創る。

また地域も高校生との関わりを契機とし、

地域そのものが育つための一助となるような機会を創り出す学校。